



NPO法人ジャパンデンタルミッション

海外活動報告書

場所 バヌアツ共和国・タンナ島

期間 2011年7月9日～18日

参加メンバー

(上段左から) 山本 喜代(V) 上崎 秀美(D) 横井 宏海(V) 垣内 万智子(H)

(下段左から) 大西 富子(H) 沢田 宗久(D) 倉橋 朋子(H) 沢田 有希(H)



活動内容

7月9日(土曜日)

午前8:00に参加メンバー8名が集合し関空から香港へ

19:00の便で次はシドニーへ

この日は機内泊

7月10日(日曜日)

早朝にシドニーに到着後、ポートビラに向けて再び出発

15:00頃ポートビラに到着

現地政府のローリー氏と保健省のトメル氏の後任で歯科医師であるラッセル氏に迎えられホテルに向かう。

ホテルでは、オーバーブッキングの為足止めになった吉竹チームと合流し皆で夕食をとった。

7月11日(月曜日)

この日は待ちに待ったタンナ島への出発の日

メンバーそれぞれに期待と緊張の中ホテルを後にした。

ビラの空港では、以前お世話になったイソ氏と偶然に出会う。

また空港内で出会ったニュージーランドやバヌアツの方から東日本大震災について話しかけられた。

遠く離れた土地で日本を気に掛けてくれている人がたくさんいることに心が温かくなったひと時だった。

午前11:30頃にタンナ島に到着

イオ氏と JICA の西川さんが出迎えてくれ ゲストハウスに向かう。

今年は病院の目の前にあるハウスだった為、準備に無駄がなく効率よく進められた。

昼食後診療を始めたが、初日にもかかわらず予想以上の患者さんが来られた。

沢田代表はポートビラに残り、政府とのミーティングを行う。

ユニセフによる手洗いの啓発活動の後方支援として「タオルや石鹸」などの協力と言う話が出たが

手洗いの為にはまず『水』が必要なため

水が不足している地域・水のタンクが設置されていない地域の視察を行い

尚且つ未来を担う子供達が学びやすい環境をと言うことで

小学校に設置できないか検討することになった。



7月12日（火曜日）

今日から本格的に活動開始の為、メンバーは予定時間よりも早く準備に取り掛かる。

診療班と学校検診の班に分かれての活動。

小学校は今回初めて訪れる2校に大西・倉橋・横井が行き、出発前から準備をしてきた『エプロンシアター』は参加型の啓発を兼ねた衛生保健指導の為 子供達にもウケが良く手間をかけて準備をしてきた甲斐があった。

診療所は上崎・垣内・沢田・山本で行う。抜歯や充填治療が多くドクターが一人の為

上崎先生はフル稼働していた。

沢田代表とラッセル氏は2:30にタンナ島に到着

その後 教育省とミーティングを行う。

7月13日（水曜日）

今日も同じく診療班と学校検診班に分かれて活動する

診療所は上崎・ラッセル・山本で行うが、午前中に患者が集中し途切れる気配がない程だったが、午後はウソのように患者が引き遊んでいた子供を捉まえてブラッシング指導を行った。

学校検診は、大西とティミー氏 JICA の野呂さんと2校まわり今回のマンパワー不足をここでも感じたが、

持ち前のガッツで乗り切ってくれた。

沢田代表と垣内・沢田・横井のメンバーでレナケル小学校の検診及び文化交流のタペストリーの贈呈を行う。衛生指導や文化交流は子供達もとても楽しそうな様子だった。



7月14日（木曜日）

この日は早朝から診療所前が騒がしく子供の姿も多く見られた。

12日より行った学校検診で治療を必要とする子供達が先生と一緒に訪れた為だ。

沢田代表とラッセル氏の2名のドクターと大西・倉橋・山本で診療を開始するがお昼を過ぎても患者が引く気配は無かった。

学校検診は上崎・垣内・沢田・横井・JICA 野呂さんとで2校まわる。

生徒数の多い学校であった為宿舎に戻って来るのはお昼を過ぎていた。

メンバーも段々と疲れが出はじめてきた頃だったが、美味しい日本食のおかげで体調を崩す者はいなかった。





7月15日（金曜日）

活動最終日

診療所は沢田代表・上崎・ラッセル・垣内・沢田

この日も昨日に続きトUFFERから先生と生徒が車に乗り込み治療に訪れた。

他にも、レナケル病院に入院中の少年の抜歯も行う。

学校検診は大西・倉橋・山本・横井で2校へこの日もJDMが初めて訪れた学校の為、大変喜んでいただけたようで検診後フルーツなどの

お土産をたくさん頂いた。

どの学校でも保健指導の最中は子供達が真剣なまなざしで話に聞き入っていた。

また、学校の先生も一緒になって歯磨きの練習を最後までして頂けたことは小さな一歩かも知れないが、大きな成果に繋がると感じた。



7月16日（土曜日）

朝8:00から診療所と宿舎の片付けを行う。

その後ラッセル氏と合流し、ホワイトグラスにて昼食を取る。

夕方ホートビラに到着し夕食を兼ねてミーティングを行う。

次の日が早朝出発の為、皆早めに就寝した。

7月17日（日曜日）

朝5:00にホテルを出発しシドニー経由後、22:00頃香港に到着。

香港のホテルに一泊する。長時間のフライトの為、ここでの一泊はとても体の負担を軽減できた。

7月18日（月曜日）

朝8:00に香港を出発し関空に14:30到着

メンバーは『帰りたくない!』と口ぐちに言っていたが、過酷な環境の中こんな風に思えるのはバヌアツという国で、ただ同じ人として人間同士の係わりを持たたからだと思う。

毎年恒例の『家に帰るまでがJDM!』記念撮影後 解散した。



2011年7月バヌアツ リーダー総括 上崎秀美

今回も技工士さんの参加がなく、歯科医師2名、衛生士5名、ボランティア1名
総勢8名で 7月9日～18日の活動でした。

私にとっては4回目にしてやっと、この国の指揮命令系統の流れがなんとなく見えてきたように思いました。

事前の打ち合わせがうまくいくと、車の手配はよく、フォローするJICAのみなさんの助言などで

比較的スムーズに診療所、小学校とこなせたように思います。また、今回の宿舎が病院のまえて、非常に便利が良かったことと、隣接した宿舎にJICAメンバーが居住し

毎晩話し合いの場が持てたことも現地事情を理解するのに役立ちました。

最後になりましたが、たくさんの患者さん、多数の小学校まわり、忙しい中の食事準備と

全員の協力がなければ達成できないことで このチームワークに非常に感謝いたします。

また、笑顔くれた現地の方々、国内から支えてくれた方々、活動チームで支えてくれた方々

に感謝しつつ、全員無事に帰国できましたことを申し添えてリーダー報告を終えたいと思います。

データ

	11日	12日	13日	14日	15日	総数
CR		18	30	11	54	113本
セメント	7	6	15	14	13	55本
抜歯	0	17	10	40	26	93本
義歯修理	0	0	2	0	1	3床
TBI	6	2	7	0	1	16人
スケーリング	4	6	7	0	1	18人
チェックのみ	0	0	1	4	9	14人
PMTIC	0	0	1	0	0	1人
根幹治療	0	2	7	0	1	10人
切開	0	0	2	0	0	2人
受信者数	12	24	36	59	43	174